

上野「文化の杜」新構想推進会議・ワーキンググループ（第5回）議事メモ（案）

開催日時：平成26年3月26日（木）15：00～16：45

開催場所：東京藝術大学事務局第2会議室

出席者：辰野国立文化財機構理事、小松国立西洋美術館副館長、折原国立科学博物館理事、小室東京都美術館副館長、桜庭東京文化会館副館長、鈴木上野の森美術館事務局長、北郷東京藝術大学理事、畑中東京藝術大学理事・（兼）事務局長、田辺台東区文化産業観光部長（代理出席 黒田台東区文化産業観光部文化振興課長）、平林文化庁政策課長

オブザーバー：杉村東日本旅客鉄道（株）投資計画部次長（代理出席 星東日本旅客鉄道（株）投資計画部課長）

欠席者：栗原国立文化財機構事務局長・（兼）東京国立博物館総務部長、五十嵐東京都建設局公園緑地部公園計画担当部長、関東京都生活文化局文化振興部部長、大澤実紀東日本旅客鉄道（株）事業創造本部長（オブザーバー）

ヒアリング参加：山下（株）JTB旅行事業本部観光戦略室観光立国推進担当マネージャー、原田（株）JTBコーポレートセールス営業推進本部ソーシャルソリューション地域交流推進局マネージャー、池田KNT-CTホールディングス（株）事業戦略統括部地域事業部課長

●議題

（議題1）前回の議事メモの確認について

座長から資料1に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

（議題2）上野「文化の杜」新構想の方向性（素案）について

座長から資料2に基づき説明後、上野「文化の杜」新構想の方向性に関して意見交換を行った。

なお、座長から事務局に対して本日の意見を踏まえ、資料2に関し、加筆修正するよう指示があった。

（主な意見）

- ・ 上野アメ横も文化であり、上野商店街と連携を強化すべき。例えば、上野駅周辺のガード下には回転寿司が多数有る回転寿司激戦区であり、外国人の受けも良い。上野公園側の諸施設においてもそのような商店街の特徴などを紹介することで、上野公園とアメ横や商店街地区との回遊性を強化できる。
- ・ まずはとにかく多様な意見を出して、上野公園地区だけでなく周辺地区も含めて様々な検討を行い、最終的にとりまとめていく。
- ・ ただし、何でもかんでも詰め込みすぎるとかえってわかりにくくなってしまう。まずは、上野公園内の各施設が更なる努力を積み重ねて、他地域とも連携していくべき。
- ・ 国策として大きな目玉となる事業を柱として打ち立てることも必要ではないか。

- ・ 東京都や台東区のグラウンドデザインや国立西洋美術館の世界遺産化に係るバッファ環境整備との整合性等を踏まえて検討する必要がある。
- ・ 上野の杜の魅力のひとつとして、歴史的建造物の集積の活用も考えられる。
- ・ 上野公園の文化施設については、それぞれの役割を担っており、使命と目標がある。そして、何故「上野」なのかの根本を考え、それぞれの文化施設が使命と目標を踏まえつつ、2020年に向けて発展することが非常に重要であり、その上で、上野公園を活用した共通のイベント等には一体となって連携すべきである。

（議題3）旅行業関係団体のヒアリングについて

座長から標記について提案があり、「(株)JTB」及び「KNT-CTホールディングス(株)」から上野「文化の杜」新構想に係るご意見、ご期待、ご要望の他、広く上野公園地区との関わり等について、ヒアリングを行った。

（主な内容）

- ・ アートツーリズムには非常に着目しており、実際に過去上野の杜の建築ツアーを開催した際にも非常に反響が大きかった。日本に来る外国人観光客の不満点などを一つ一つ解決できるよう丁寧に対応していけば、上野公園は外国人観光客のゲートウェイになれると考えている。
- ・ 長期滞在型で日本らしさを体感したい外国人観光客が多く、上野周辺などに宿泊する人も多い。ビジネスホテルであれば新宿近辺に泊まる外国人観光客が多い。
- ・ 一般人はなかなかオリンピック・パラリンピックに関わる機会がない。また、五輪やワールドカップなどのメガスポーツイベントの期間は、一時的に観光客が減る。ロンドン五輪では、一時的な減少分を年間で補完できるよう文化イベントを年単位で実施した。特に、体験型のアートイベントではたくさんの方が参加できるため、かなりの集客が期待できる。
- ・ 入館料の一部を文化財保護や修復のための寄附に充てる等、「観光の力で文化を守る」試みも必要なのではないか。
- ・ 外国人観光客は、海外から持ち込んだ端末で日本のキャリアにアクセスすることを制限されている。WIFIを導入するに当たり、規制緩和と、上野公園地区のみで使えるWIFIではなく、東京都や台東区と連携して設置することが必要。
- ・ 国際会議のユニークメニューを提供できる場所としてアピールしていくのも良いのではないか。
- ・ アメ横は、元々人気がある。山では「文化」で気を引くプロジェクトでアピールするのが良い。
- ・ 共通パスも期間を広げる等の工夫が必要。学生団体も重要。
- ・ 夜を使うことも重要。キャパシティの増につながる。

（議題4）今までのWGにおける中間まとめ（概要）及び今後のWGの課題について

座長より資料3に基づき説明があり、今までのWGにおける中間まとめ（概要）及び今後のWGの課題について意見交換を行った。

(主な意見)

- 資料2をさらにブラッシュアップさせて、わかりやすく視覚的にも訴えるような形でまとめることが必要ではないか。
- ワーキングで現在議論している内容を親会議でも検討の上、ワーキングに戻してもらいさらに検討を進めるべきではないか。
- 発展を含め、上野のポテンシャルをこの構想に中でもっとアピールすべきではないか。